

受付印

記載例

収入印紙	円	
予納郵便切手	円	
予納収入印紙	円	

**家事審判申立書** 事件名( **戸籍訂正** )

(この欄に申立手数料として1件について800円分の収入印紙を貼ってください。)

(貼った印紙に押印しないでください。)  
(注意) 登記手数料としての収入印紙を納付する場合は、登記手数料としての収入印紙は貼らずにそのまま提出してください。

準口頭		関連事件番号 平成 年(家 )第	号
-----	--	------------------	---

名古屋家庭裁判所 御中 平成 年 月 日	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	甲 野 三 郎	(印)
----------------------------	-----------------------------	---------	-----

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)
------	--------------------------------------

<b>申立人</b>	本籍(国籍)	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。) 都道 府 県 〇〇 〇〇市〇〇町一丁目〇番地		
	住所	〒 -	電話 ( )	
	連絡先	〒 -	電話 ( )	
	フリガナ	コウ ノ サブ ロウ		
	氏名	甲 野 三 郎		
職業	会 社 員			
	本籍(国籍)	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。) 都道 府 県		
	住所	〒 -	電話 ( )	
	連絡先	〒 -	電話 ( )	
	フリガナ	大正 昭和 平成 ( ) 年 月 日 生 ( 歳)		
	氏名			
職業				

(注) 太枠の中だけ記入してください。  
の部分には、申立人、法定代理人、成年被後見人となるべき者、不在者、共同相続人、被相続人等の区別を記入してください。

申 立 て の 趣 旨	
本籍	県 市 町 丁目 番地 筆頭者甲野太郎の戸籍中，三郎の
父母との続柄欄に「二男」とあるのを，「三男」と訂正することを許可する，と	
の審判を求めます。	

申 立 て の 理 由	
1	申立人は，昭和 年 月 日に，父甲野太郎，母花子との間の三男として出生しました。
2	申立人の父は，申立人の出生届の際，申立人の兄次郎が出生間もなく死亡していたこともあって，出生届書の父母との続柄欄に「二男」と誤記したため，そのような戸籍の記載がなされました。
3	その後，戸籍謄本を必要とする機会もありませんでしたが，就職に際し，戸籍謄本を取り寄せてみたところ，父母との続柄欄に「二男」と記載されていることが分かりました。
以上の事情にありますので，申立ての趣旨のとおり審判を求めます。	